

長期ステロイド使用後の足部腫脹と疼痛を経て歩行生活が戻った成人アトピーの経過 (67 歳 女性)

症例 ID：001-60-KK2 | 記録日：2014 年 12 月 15 日

1. 診断・治療前経過

50 歳頃から足首周囲に湿疹があり、悪化時にステロイド外用を繰り返していました。2012 年 7 月から約 9 か月、マイザー軟膏とアレグラ錠を使用しました。

その後、足底が板のように厚く割れて痛み、足の甲が腫れて靴を履けず、日常生活が難しくなりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	足の湿疹にステロイド外用薬を使用しました。
製品名	マイザー軟膏。以前の製品名は不明です。
強度	強い外用薬の使用歴があります。
使用期間	50 歳頃から断続的に使用し、2012 年 7 月から約 9 か月継続しました。
中止時期	2013 年頃、松本医院受診前に中止しました。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
50 歳頃～	慢性経過	足首周囲の湿疹にステロイド外用を繰り返しました。
2012 年 7 月～約 9 か月	外用継続	マイザー軟膏とアレグラ錠を使用しました。
2013 年 9 月 6 日	治療開始	松本医院を受診しました。
2013 年 11 月～2014 年 1 月	症状の強い時期	足の強い痛み、発熱、むくみが続き、立位や座位が難しくなりました。
2014 年 2 月	生活行事	娘の結婚式頃には首と手首の赤みが目立ちにくくなりました。
2014 年 6 月	生活への影響	めまいと疲労で買い物や旅行中に休む必要がありました。
2014 年 12 月	経過中	左足の傷は膝上と足底のかゆみが残る程度となり、痛みと腫れは軽減しました。

4. ピーク時期

ピークは、2013 年 11 月から 2014 年 1 月頃に、足の強い痛みと発熱、むくみが続き、調理や移動に支障が出た時期です。

5. 困りごと

- 足底の亀裂と腫れで靴が履けず、外出が難しくなりました。
- 立位や座位で強い痛みがあり、夫に食事作りを任せる時期がありました。
- めまいと疲労により、買い物や旅行で休憩が必要でした。

6. 経過のまとめ

治療開始後は足の痛み、発熱、腫れ、めまいなどの波がありましたが、2014 年 12 月頃には左足の傷は膝上と足底のかゆみが残る程度となりました。足の腫れと強い痛みが軽減し、外出や日常生活を再開できる状態となりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。